

① 益田市内において、ニホンジカの生息状況調査を行いました！

令和5年5月23日（火）と26日（金）に、益田市種村町、美都町久原、美都町宇津川において、ニホンジカの生息状況調査を行いました。地形や植生から調査ルートを選定し、シカの食痕や足跡、フンなどの痕跡の有無を調査・記録しました。

調査の結果、すべての調査地において、シカの痕跡が確認されました。痕跡の中には数年前のものとは推定される古いものから、数日以内のものとは推定される新しいものまであり、山の中には少ない数ではありますが、数年前からシカが生息していることが分かりました。

また、被害としては報告されていないものの、今回の調査でスギやヒノキなどの造林木に対する角こすり等の被害も確認されたため、今後は注視していくとともに、林業者への普及啓発の必要性も感じられました。

益田管内では、まだシカの生息数は少ないですが、近年、捕獲数が右肩上がり増加しています。また、本調査の結果にもあるように、各地で痕跡も確認されています。このような状況の中、生息数が増加していけば、今後、林業被害だけでなく農業被害の発生も懸念されます。シカの被害が発生するようになれば、被害対策に非常に大きなコストや労力がかかってしまいます。被害を発生させないためには、行政だけでなく、林業者自らがシカの痕跡や被害などの情報収集等を積極的に行っていくとともに、捕獲対策を行っていくことが重要です。

島根県では、毎年狩猟免許試験を県内各地で実施しています。既に免許を所持している猟師の方だけに捕獲を任せるのではなく、みなさんも狩猟免許を取得し、地域の鳥獣対策の力になっていただければと思います。詳しくは下記HPをご覧ください。

加えて、シカの被害情報等もありましたら、当事務所までお知らせください。

(https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/choujuu_taisaku/syuryou.html)



樹皮を食べられたリョウブ



引きちぎったような食痕



造林木への角こすり



足跡



木に付着した毛



フン